授業づくり研修講座　実践レポート

　　　　　　　　　　　　　　　　　　立野台小学校　中村　強

単元名　　　　　第６学年　算数「数値化して比べる」（飛び込み教材）

実践のポイント（工夫）

　　　　・身の回りのいろいろな事象を比べるとき、だれとでも共有できる対象としては数字が一番で

ある。この数値化をどのようにあてはめ、自分なりの答えを導き出すに至ったかの説明を文章に

書かせる。自分の考えを説明するときに、この数値を使わせることで相手にわかりやすく、自分

の考えも整理しやすいと考える。

実践内容

自作教材「予想が一番上手な人は誰？」

プロ野球の順位を解説者４人が予想をしました。このA,B,C,Dの４人で一番上手に予想をしたのは誰でしょう？

　【　活　動　】

1. 予想を数値化し、どの人が一番かを考える。

　Aさん：１５４３２６　Bさん：３２５４１６

Cさん：３１２６５４　Dさん：２１４３６５　という結果になる。

　→　最初の印象　A：０人　B：６人　C：１人　D：２３人という支持の分かれ方をした。

　　②　支持した理由を文章に表わし、説明する。B：的中させた順位が３つ（一番多い）

　C：上位と下位のグループを的中

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　D：ずれが最少（ずれを数値化して比較）　など

　　③　支持されなかったAを一番にする理由も考えて、文章に表わしてみよう。

　　　→Aさんは、１位と６位を的中させている。的中させた数は３つというBさんに負けるが、プロ野

球は「優勝」が重要視される。その１位を的中させたので、「１番上手」に値する。　など

④　授業の感想を書く

・いろいろな方法がみんなと学べて楽しかったです。

・いろんな人の意見を聞いて「あ、そういう考えもあるんだ！」というのが、たくさんありまし

た。とても楽しかったです。

　・正解がない、ときいてびっくりしました。

振り返り（成果や課題）

ゲームで、わりと有名なものに「無人島に持って行くならどれ？」というものがあります。グループで話し合い、３つにしぼる、というような内容のものです。「これだ」という正解がなく、それぞれの考え

をお互いに出し合い交流するのが目的だったりします。

　今回、論理的な考えを「数値化して考える」という形で子どもたちには考えさせ、相手に伝える文章として表現させました。題材には楽しく意欲的に取り組めたようです。しかし、文章よりは話し合いという方が中心になってしまった感もあります。

　また、数値化を中心に置いたことにより、論理的な文章展開をもっと違った形で取り入れる必要があると考えます。